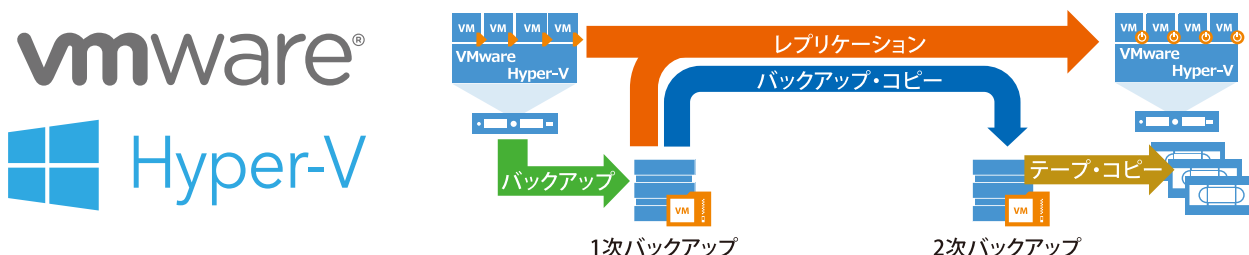


従来製品とは、ここが違う!

veeam

Veeam Backup & Replication

バックアップとレプリケーションが2in1、様々な構成に柔軟に対応



エージェントレスで手間なく、確実な静止点作成



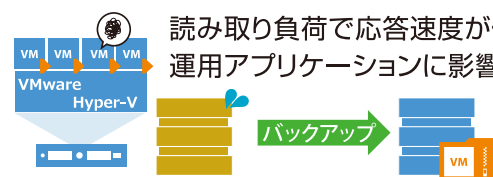
エージェントベースだと...

- ・ VM数が多くなるとエージェント管理が手間
- ・ エージェントの更新などがトラブルのもとに
- ・ エージェントによる負荷でリソースが不足

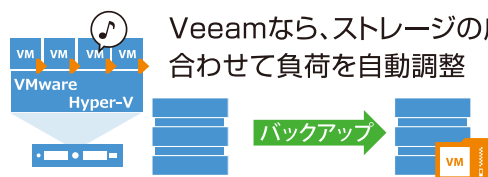
Veeamなら!

- ・ エージェントレス、APIでバックアップ
- ・ アプリケーションに合わせて、静止点作成
- ・ 保守を簡単に、手間を減らしコスト削減

運用環境へのバックアップ負荷をコントロール



読み取り負荷で応答速度が低下...
運用アプリケーションに影響が...



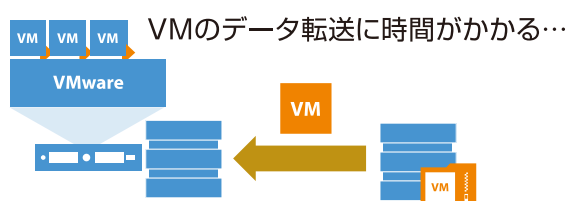
Veeamなら、ストレージの応答速度に
合わせて負荷を自動調整

組み込みの重複排除、圧縮、暗号化(パスワード復旧機能有り)

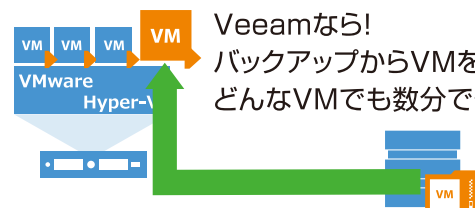


- ・ AES256bitでの強力な暗号化
- ・ パスワード復旧機能
(チャレンジ/レスポンス方式)

インスタントVMリカバリでバックアップからVMを数分で起動



VMのデータ転送に時間がかかる...



Veeamなら!
バックアップからVMを直接起動
どんなVMでも数分で使用可能に

ファイルリストアの対応範囲が違う! 19のファイルシステムに対応

Windows, Linux, BSD, Mac, Novell OES, Solarisの
ファイルシステムからのリストアに対応。

Linux LVMやWindows LDMなどの複数ディスクからなる構成にも対応



アプリケーションのアイテムもエージェントレスで簡単リストア



Active Directory



SharePoint



Exchange



SQL Server



Oracle

運用環境への影響をほぼ0に! ストレージスナップショット連携

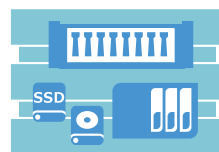
- ・ VMwareスナップショット
 メリット: VMの整合性をしっかり確保!
 デメリット: 仮想環境への影響
 ※追加の容量、削除時の負荷、VMパフォーマンス低下など
- ・ ストレージスナップショット
 メリット: 高速、低負荷!
 デメリット: 整合性の確保が難しい
 ※ゲストOSレベル、アプリケーションレベルの静止点

Veeamなら両方のメリットを活用し、デメリットを回避したバックアップ/リストアを実現!



保存先も柔軟に構成可能!ストレージに縛られないバックアップを

- ・ DAS (Windows, Linux)
- ・ NAS (CIFS, NFS)
- ・ SAN (FC, iSCSI)
- ・ 重複排除ストレージシステム
- 連携した高速処理にも対応 (Dell EMC Data Domain Boost, HPE StoreOnce Catalyst, ExaGrid)
- ・ スケールアウト リポジトリ
 → 複数のストレージを組み合わせる
 一つの保存先として利用可能。
 構築後の容量追加も簡単

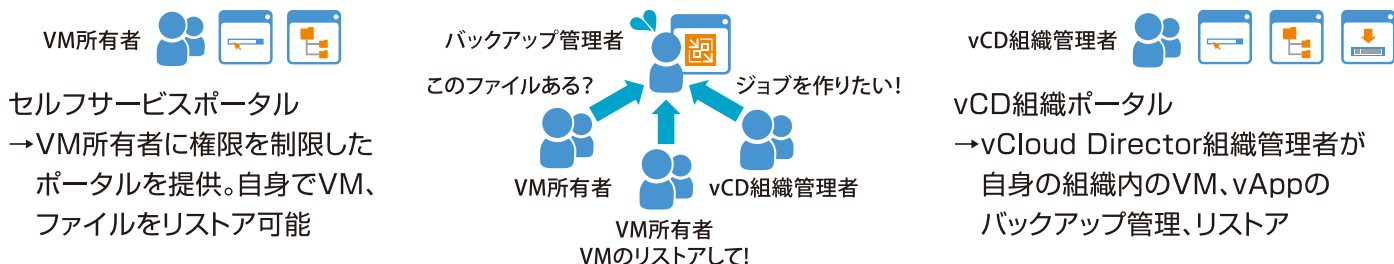


組み込みのWAN高速化で大容量VMも災害対策

WANアクセラレータが転送量を大幅削減! 低帯域でも災害対策を実現可能



管理者の負担を減らす、セルフサービス機能も充実



バックアップ、レプリケーションの自動復旧検証

ネットワーク的に隔離された環境Virtual Labを作成し、自動的に復旧テストを実施可能

Virtual Labでバックアップから起動させたVMを各種テストなどに活用

